



Photostud

THE NAKAYAMA GRAND JUMP 第26回 農林水産省賞典 中山グランドジャンプ (J-GI)

1着 2着 3着 4着 5着
 本賞 66,000,000円 26,000,000円 17,000,000円 9,900,000円 6,600,000円
 付加賞 420,000円 120,000円 60,000円



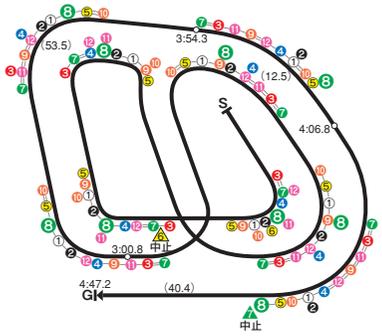
レース映像は
 コチラでご覧
 いただけます。

4歳以上、除未出走馬および未勝利馬
 負担重量 4歳62⁺・5歳以上63⁺、牝馬2⁺減

2024.4.13 中山 晴・良 芝4250^レ (国産)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	平均 1ハロン	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師
1	⑧	イロゴトシ	牡7	63	黒岩 悠	4:47.2	3-3-1-1	13.5	468(-8)	12.2②	牧田和弥(栗東)
2	①	ジュネベロシティ	牡6	63	森 一馬	3	4-4-4-4	13.5	466(±0)	20.8⑤	武 英智(栗東)
3	⑩	ニシノデイジー	牡8	63	五十嵐雄祐	2½	1-1-3-3	13.6	504(-2)	14.2③	高木 登(美浦)
4	②	エコロデュエル	牡5	63	小野寺祐太	4	5-5-4-4	13.6	474(-2)	14.7④	岩戸孝樹(美浦)
5	⑤	ピレッジイグル	牡7	63	大江原圭	1½	2-2-2-2	13.6	512(-4)	21.7⑥	竹内正洋(美浦)
6	④	マイネルグロン	牡6	63	石神深一	1½	7-6-6-6	13.6	514(-2)	1.1①	青木孝文(美浦)
7	⑫	ダイシンクローバー	騾8	63	高田 潤	大差	6-6-7-7	13.7	490(+6)	123.4⑦	高橋一哉(栗東)
8	⑨	ギガバッケン	騾9	63	伴 啓太	大差	8-8-8-8	13.9	536(±0)	285.4⑧	岩戸孝樹(美浦)
9	⑪	フロールシュタット	牡5	63	上野 翔	7	9-9-9-9	13.9	468(-8)	315.6①	戸田博文(美浦)
10	③	ワンダークローバー	牡6	63	難波剛健	大差	10-9-10-10	14.4	474(+4)	130.7⑧	森田直行(栗東)
牝	⑥	タマモワカムシャ	騾5	63	中村将之			47.4(-10)	332.5⑨	川村禎彦(栗東)	
牝	⑦	ボルタフォリオ	牡6	63	小牧加矢太		11-11-11-11		492(-4)	303.2⑩	角田晃一(栗東)

単勝⑧1,220円(2⁺%) 複勝⑧720円(4⁺%) ①870円(6⁺%) ⑩550円(2⁺%) 枠連①-⑥8,120円(17⁺%)
 馬連①-⑧7,250円(15⁺%) ワイド①-⑧1,540円(17⁺%) ⑧-⑩760円(8⁺%) ①-⑩990円(10⁺%)
 馬単①-①17,170円(28⁺%) 3連複①-⑧-⑩8,040円(20⁺%) 3連単⑧-①-①101,750円(137⁺%)



上り1マイル: 1:46.4 上り: 800^レ 600^レ
 52.9 - 40.4

アラカルト

- ・黒岩悠騎手、牧田和弥調教師ともにイロゴトシで制した23年に続く中山グランドジャンプ2勝目。JRA重賞は本年初勝利、通算5勝目
- ・ヴァンセンヌ産駒はJRA重賞通算2勝目
- ・本競走を連覇した馬はゴーカイ(00・01年)、カラジ(05~07年)、オジュウチョウサン(16~20年)に続く4頭目
- ・7歳馬の勝利は18年オジュウチョウサンに続く通算4回目
- ・タマモワカムシャは1周目2号障害(いけ垣)着地時につまずき騎手が落馬したため競走中止
- ・ボルタフォリオは競走中に異常歩様となったため10号障害(ハードル)手前で競走中止
- ・マイネルグロンは競走中に疾病(右前肢跛行)を発症

イロゴトシ Irogotoshi

牡 鹿毛 2017.3.7生
 熊本県熊本市 本土寿氏生産
 馬主・内田玄祥氏 栗東・牧田和弥厩舎
 馬名意味・色事師

ヴァンセンヌ 鹿毛 2009	ディープインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	フラワーパーク 鹿毛 1992	ニホンピロウイナー ノーザンフラワー
イロジカケ 鹿毛 2012	クロフネUSA 芦毛 1998	French Deputy Blue Avenue
	リッジローズGB 鹿毛 2004	Sadler's Wells Fig Tree Drive

5代までのインブリード：Northern Dancer M4×S5

INTERVIEW

本田土寿氏(生産者)

最高のプレゼントをくれた孝行息子です

強い馬に胸を借りる気持ちで家族8名で応援に行きました。GIという最高のプレゼントを贈ってくれた孝行息子イロゴトシには感謝しかありません。初仔らしくない骨太でしっかりとした男馬らしい馬体をしていましたが、性格はシャイで母馬の後ろに隠れるような馬でした。これからも結果は自ずとついてくると思いますので、とにかく無事を願うだけです。

M.Takahashi



熊本の本田土寿牧場で生まれた本馬は平地戦で3勝を記録し、昨年1月に障害入り。転身4戦目の中山グランドジャンプを大差で圧勝し、九州産馬初のJ・GI制覇を成し遂げた。その後、夏負けの影響が尾を引いて秋初戦の東京ハイジャンプは6着。暮れの中山大障害は回避を余儀なくされたものの、復帰を焦らずに体調の回復を待った陣営の「我慢」が実り、3月の平地戦(13着)をひと叩きして臨んだ本番で見事に復活を果たした。

父ヴァンセンヌ

北海道白老町(有社台コーポレーション白老ファーム生産 中央16戦6勝(東京新聞杯^{GIII}、元町S、2014エクセレントジョッキーズトロフィー、小峰特別、安田記念^{GII} 2着、京王杯スプリングC^{GII} 2着)、16年から供用〔代表産駒〕イロゴトシ(本馬)、ロードベイリーフ(アイビスサマーダッシュ^{GIII} 3着2回)、ハレノインパクト(高知優駿、黒潮卓月賞、土佐秋月賞、土佐春花賞)

母イロジカケ

北海道新栄町 前川隆範氏生産 中央12戦0勝

イロゴトシ 本馬(17 牡父ヴァンセンヌ)中央22戦3勝(ひまわり賞^{OP}、揖斐川特別)、地方3戦0勝(霧島賞2着)、障害6戦3勝(中山グランドジャンプ^{JG} 2回) 獲得総賞金208,495,000円

イロエンピツ(18 牝父アーネストリー)中央9戦0勝、障害7戦0勝、地方5戦2勝(たんぽぽ賞)

イロコイザタ(19 牝父ゼンロブロイ)中央3戦0勝、地方28戦1勝

イロゴノミ(20 牝父ジャングルポケット)中央4戦0勝、地方16戦5勝

イロメガネ(21 牝父ヴァンセンヌ)地方18戦0勝

(22 不受胎)

(23 牝父ゴールドシップ)

祖母リッジローズGB

英0勝。10年輸入、22年死亡

イロジカケ(12 前出)

ヴィットリオ(13 牝父シンボリクリスエスUSA)中央0勝、地方6勝

曾祖母フィグトゥリードライブ Fig Tree Drive

アメリカ産 英1勝

サブリティ Sublimity(00 牝父Selkirk)愛、英4勝(アレジッドS・愛L、ドンカスターマイル・英L、サバルベッグS・愛L3着、スタップスS・英L3着)、障害5勝

マーブッシュ Marbush(01 牝父Linamix)首、英5勝(ブルジナール・首^{G3})

エステート Estate(02 牝父Montjeu)英、愛3勝、障害3勝

リッジローズGB(04 前出)

バンドロデラゴ Pandoro de Lago(08 牝父Encosta De Lago)英、豪1勝、

ポイズドトウストライク Poised To Strike(マンフレッドS・豪^{G3}3着)の母

チェリートゥリーレーン Cherry Tree Lane(12 牝父Fastnet Rock)阿0勝、

レッドメープル Red Maple(スブークエクスプレスS・阿L)の母

連覇達成！ 障害界の王位に再び咲く

昨年3月のオープン戦を皮切りに5連勝中、始動戦の阪神スプリングジャンプも7馬身差で圧勝した王者マイネルグロンが、単勝1・1倍と圧倒的な支持を集めた春の障害王決定戦。しかし同馬はレース中に故障(右前肢跛行。後日の精密検査で屈腱炎が判明)を発生し、6着に終わる。勝利を飾ったのは前年の覇者イロゴトシ。火の国生まれの障害王が雌伏の時期を乗り越えて1年前の輝きを取り戻し、障害界の王位に再び咲いた。

前哨戦のベガサスジャンプSを逃げ切り、3連覇を達成したビレッジイグルが大方の予想通りに先手を奪取。しかし好位で戦況を窺っていた2年前の振り切った4コーナーを回る。先頭に立ったイロゴトシは直線の最終障害も無難にクリア。外から追い込んできたジューンペロシティの反撃を寄せ付けず、連覇のゴールを駆け抜けた。

熊本の本田土寿牧場で生まれた本馬は平地戦で3勝を記録し、昨年1月に障害入り。転身4戦目の中山グランドジャンプを大差で圧勝し、九州産馬初のJ・GI制覇を成し遂げた。その後、夏負けの影響が尾を引いて秋初戦の東京ハイジャンプは6着。暮れの中山大障害は回避を余儀なくされたものの、復帰を焦らずに体調の回復を待った陣営の「我慢」が実り、3月の平地戦(13着)をひと叩きして臨んだ本番で見事に復活を果たした。